

豊中市の図書館活動 I

— 報告 —

令和4年度（2022年度）版



豊中市立図書館

目 次

はじめに.....	1
図書館の使命と理念 基本目標.....	2
1. 数値で見る令和4年度の豊中市立図書館のすがた.....	3
2. 令和4年度 トピックス.....	4
◆ 庄内図書館がリニューアルオープン.....	4
◆ 電子書籍貸出サービス（豊中市デジタル図書館）を開始.....	5
◆ 豊中市立図書館みらいプラン策定.....	5
◆ 外部評価～アンケートの実施と図書館評価部会開催～.....	5
3. 地域・市民との協働.....	6
◆ しょうないREK（R：リサイクル E：イベント K：瓦版[情報]）.....	6
◆ 千里文化センター「コラボ」.....	7
◆ 北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～.....	8
◆ 関係団体一覧.....	9
◆ 市民との取り組み事業.....	10
4. 子ども読書活動推進計画.....	11
5. 事業報告.....	11
◆ 暮らしの課題解決.....	11
◆ レファレンスサービス.....	12
◆ 個人貸出サービス.....	13
◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」.....	13

◆ ヤングアダルト（YA）サービス.....	14
◆ 高齢者サービス.....	15
◆ 障害者サービス.....	16
◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）.....	16
◆ 団体へのサービス.....	16
◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス.....	18
◆ 図書室.....	19
◆ 資料の収集と保存.....	19
◆ 人権・平和に関する取り組み.....	20
◆ 研修.....	21
6. 情報発信（広報・広告など）.....	22
7. 職員による出前講座・講師派遣、視察.....	23
8. 図書館協議会.....	24
9. 図書館評価.....	25
10. とよなかブックプラネット事業.....	25
11. （仮称）中央図書館基本構想.....	26
施設案内.....	28

はじめに

令和4年度はコロナ禍を経て、豊中の図書館にとって新たな事業展開のスタートとなる1年でした。

まず、令和3年2月に策定した「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」に続いて、新たな図書館ネットワークやサービスのあり方をより具体的に示した「豊中市立図書館みらいプラン」の策定です。これにより豊中の図書館がこれまでのサービスに加えて、司書の専門性を活かし公民館などと一体的に社会教育を推進するほか、まちづくりの視点で新たな図書館サービスを展開し、人と人、人と情報をつなげていくことを明らかにしました。素案に対するパブリックコメントには多くのご意見をいただくとともに、地域の説明会で市民のみなさんと直接お話する機会もありました。図書館に寄せられる期待や要望を受けとめる1年となりました。

次に電子書籍貸出サービス（豊中市デジタル図書館）の開始です。タイトル数は限られているものの、いつでもどこでもインターネット環境さえあれば読むことができます。一部のコンテンツには読み上げ機能も付加されていることや文字の拡大、色反転機能など、いろいろな人の読みに適した読書バリアフリーの観点からもそのメリットを多くの市民のみなさんにお知らせする必要性を感じています。

最後に、令和5年2月に庄内図書館が庄内コラボセンター（愛称ショコラ）内に移転オープンしたことも豊中の図書館にとって大きな展開となりました。庄内図書館と庄内幸町図書館が発展的統合し、図書館がワンフロアになることでゆったりと滞在できる居心地の良い空間に一新され、利用者もオープン当初から増加傾向にあります。またこれまでのリサイクル本を活用する取り組みについても、同センター1階のフロアで継続しています。

以上のような新たな事業展開をすすめるとともに、令和3年度から5年度の2年間、図書館協議会においては「読書バリアフリー」に関する審議の場を持つことができました。今後はこの報告も踏まえて、市民のみなさんが図書館を来館、非来館型サービスの双方ともに利用していただける読書環境整備をすすめてまいります。

令和5年（2023年）9月
豊中市立岡町図書館
館長 須藤 有美

図書館の使命と理念 基本目標

<公共図書館の使命・理念>

- ・ 多様な資料や情報を収集・保存し提供することによりすべての市民に知る機会を保障します。
- ・ 民主主義と地方自治の発展に寄与します。
- ・ 市民の生きがいや心の豊かさを生み出す生涯学習を推進します。

<豊中市立図書館の使命・理念>

- ・ 豊中市立図書館は「ユネスコ公共図書館宣言」・「図書館法」・「図書館の自由に関する宣言」に基づき、多様な資料や情報を収集・保存し提供します。
- ・ 豊中市立図書館は、すべての市民に知る自由を保障することにより、民主主義や市民自治の発展に、寄与します。
- ・ 豊中市立図書館は、教育・文化・情報・社会参加の機関としてその任務を果すことを使命とします。

<豊中市立図書館の基本目標>

1. 図書館活動全般を通じて教育と文化の向上に貢献し、人権を尊重するまちづくりをめざします。
2. 図書館活動を活発に展開することにより、市民生活に密着した、より質の高いサービスを提供します。
3. 図書館の運営については、納税者が納得できるよう透明性が高く、無駄のない、効果的な運営に努めます。
4. 資料提供については、利用者の秘密を守り、知る自由を保障するため、最善を尽くします。
5. 市民が、より豊かで潤いのある文化的な生活を営むために、必要な資料や場を提供し、市民の人間的・文化的教養の醸成を支援します。
6. 日常生活や仕事における、さまざまな課題を解決するために、必要な情報や知識を提供し、個人の能力開発や地域のビジネス活動を支援します。
7. メディアリテラシーの向上にむけ環境を整え、情報格差を解消し、市民の情報生活がより豊かになるよう努めます。
8. 「豊中市子ども読書活動推進計画」に基づき読書環境を整備し、子ども読書活動を推進します。
9. 高齢者や障害者等誰もが利用しやすいよう、情報提供を進め読書環境を整備し、すべての人が共生できる地域社会の実現に貢献します。
10. 地域情報を図書館に集め、地域の活動拠点や居場所として、地域の文化創造に積極的に参画し、コミュニティの活性化に努めます。
11. 図書館協議会や市民活動団体・市民等の参加や協力を得ながら、「豊中市市民公益活動推進条例」等を踏まえて、より魅力的な図書館の運営に努めます。
12. 行政機関に対して適切な情報支援を行い、行政の政策立案等を側面からサポートすることにより、市民生活の向上に努めます。
13. 他の図書館や地域の大学・専門機関等とも連携・協力し、より高度で幅広い市民ニーズに対応できるよう努めます。
14. 図書館活動全般を通じて、多文化共生社会の確立に貢献します。

1. 数値で見る令和4年度の豊中市立図書館のすがた

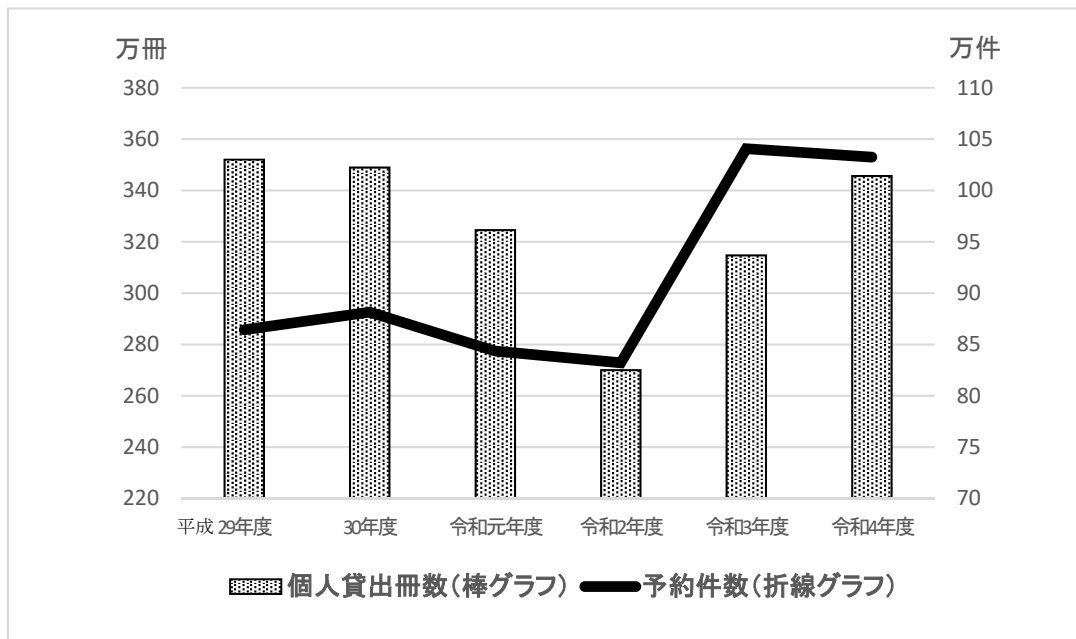
人口	399,029人
個人登録者数	135,568人
個人貸出冊数	3,456,107冊
団体貸出冊数	125,412冊
貸出人数	986,233人
予約(受付)件数	1,032,415件

調査相談件数	93,172件
年間利用者数(入館者数)	1,711,208人
職員数(うち常勤)	105(37)人
蔵書冊数	1,000,389冊
年間受入冊数	42,531冊
図書購入費	65,222,585円

※貸出冊数は継続を含む
 ※年間利用者数(入館者数)は図書室・動く図書館含まず

- ◆ 市民1人あたりの 図書購入費は 163円
 蔵書数は 2.5冊
 貸出冊数は 8.7冊
- ◆ 開館日1日あたりの来館者数は 5,766人 図書室・動く図書館含まず
- ◆ 利用者登録率は 34.0%
※登録率…平成17年度より有効期間5年の更新処理を実施
- ◆ 蔵書回転率は 3.5回
※蔵書回転率…1冊の蔵書が平均何回貸し出されたかを示す

<個人貸出冊数および予約件数の推移>



2. 令和4年度 トピックス

◆ 庄内図書館がリニューアルオープン



庄内コラボセンター

©K's Photo Works 野口兼史



©K's Photo Works 野口兼史



©K's Photo Works 野口兼史



「せせくらせ」のみなさんと長内市長

庄内図書館は、令和5年2月20日に、庄内幸町4丁目の庄内コラボセンター「ショコラ」2階へ移転した。同日をもって閉館した庄内幸町図書館の資料も含め約7万冊の資料を所蔵。貸出・返却や予約資料の受け取りまでセルフでの手続きが可能になった。セルフ機の導入にあたり、予約資料の受け取りをオープン1週間前に開始し、利用者には使い方などの説明をおこなった。館内には、豊中市立図書館初の「静寂読書室」のほか、多文化共生コーナーやシニアライフ応援コーナー、学校図書館支援ライブラリー、靴を脱いで本が読める絵本コーナーなどが配置されている。

図書館のリサイクル資料を有効活用した「しょうないREK」の販売活動も、移転と同時に新しい体制でスタートした。(6ページ「しょうないREK」参照)

リニューアルオープンにあたり、学校図書館を通じて地域の子どもたちの好きな本を募集し、学校との連携展示をおこなった。そのほか、高校生によるウェルカムボードを掲示した。

オープニングイベントとして、大阪樟蔭女子大学教授の田原広史さんによる文字活字文化振興事業「田辺文学と大阪弁」講演会を実施したほか、大阪大学公認サークル・創作人形劇団せせくらせによる「人形劇で大冒険！」を開催し、大学生と市長のふれあいトークの収録もおこなわれた。また、来館記念としてオリジナルデザインのブックカバーを先着500名に配布した。



ウェルカムボード



しょうないこのすきな本展示



◆ 電子書籍貸出サービス（豊中市デジタル図書館）を開始

令和4年7月に「豊中市デジタル図書館」を開設し、電子書籍貸出サービスを開始した。市内在住・在勤・在学で豊中市立図書館の利用者カードを持っている人は誰でも利用できる。インターネットに接続したパソコン・スマートフォン・タブレットなどで24時間いつでもどこでも電子書籍を借りることができ、図書館への来館が困難な人や図書館の開館時間に利用できない人も、読書を楽しむことができる。

また、文字の拡大や音声読み上げ機能をそなえたコンテンツや外国語資料も一部導入し、読書バリアフリーの推進にも取り組んだ。今後も電子書籍の特長を活かしたコンテンツを順次追加し、多様な読書ニーズにこたえていくとともに、利用を促進するための講座を開催するなど電子書籍の利用拡大を進める。



豊中市デジタル図書館

◆ 豊中市立図書館みらいプランを策定



豊中市立図書館
みらいプラン

令和3年2月に策定した（仮称）中央図書館基本構想（以下、「基本構想」という。）の基本方針などの関連内容を具現化し、新たな図書館サービス網の構築をめざす「豊中市立図書館みらいプラン」を令和5年3月に策定した。

本プランは、（仮称）中央図書館の候補地を3か所選定するとともに、将来にわたり持続可能な図書館サービスの新たな展開（10項目）を公表した。令和5年度以降、基本構想および本プランに基づき、（仮称）中央図書館の計画地を選定し、整備を進め、新たな図書館サービス網の構築に取り組む。

◆ 外部評価～アンケートの実施と図書館評価部会開催～

令和4年10月1日から7日にかけて来館者を対象にしたアンケート調査を実施した。来館目的の達成状況や各種サービスの認知度・満足度を把握するとともに、（仮称）中央図書館基本構想の認知度や図書館に抱くイメージについて回答を得た。

来館者アンケート結果や「平成29-令和3年度 豊中市立図書館評価システム 自己点検報告書」などについて図書館協議会図書館評価部会での外部評価をおこなった。評価報告は図書館Webサイトなどで公開し、今後の図書館運営に活用する。

3. 地域・市民との協働

豊中市立図書館は、子どもの読書活動推進・障害者サービス・多文化サービスなど市民との協働によって、さまざまな分野の事業に長年取り組んできた。豊中市における子ども読書活動は、「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」や「おはなしボランティアポケット」ほか、市民とともに築き上げてきたものである。また障害者サービスでは、市民グループによる点字図書・録音図書・さわる絵本の製作や対面朗読などにより、目や体の不自由な人の読書環境を整備してきた。

令和4年度は、おはなし会・ブックスタート事業「えほんはじめまして」のスタッフミーティング・障害者サービス（対面朗読・音点訳図書製作）・しょうないREK・北摂アーカイブス事業・図書館サポーターの活動・ヤングアダルトサービスなどにおいて、市内の感染状況を踏まえ、協働による取り組みを進めた。

図書館は、資料・情報と人をつなぐ役割を基盤に、人と人、地域や組織がつながるすべての人にとっての「わたしの図書館」であることをめざしている。協働により市民感覚を事業に反映し、地域に根ざした図書館活動につなげていく。

◆ しょうないREK（R：リサイクル E：イベント K：瓦版[情報]）

正式事業名：「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」

「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業（愛称：しょうないREK）」は、市民団体「地球ママくらぶ」が平成16年度協働事業市民提案制度に提案し、成案化されたもので、市民と公益活動団体、行政による協働事業である。R=Recycle（旧・庄内図書館3階・協働事業スペースでの図書館リサイクル本の常設販売や地域のイベントでの古本の出張販売）、E=Event（子ども向けイベントや地域活性化イベントの実施）、K=Kawaraban（地域情報誌「ええやん！しょうない瓦版」の発行）を3つの柱として、18年間活動してきた。

令和5年2月の「庄内コラボセンター」の新規開設にともない、活動拠点を庄内コラボセンターへ移転するため、旧・庄内図書館での活動は令和4年度が最後の年となった。

令和4年度の出張販売（古本市）は、「動く図書館@植物園～みどりのライブラリー～」（服部緑地都市緑化植物園）、「展望フロア開放デー」（豊中市伊丹市クリーンランド）など6回実施した。「REKの夏まつり」として行ったダイエーグルメシティ庄内店店頭での初開催も盛況であった。「とよなか市民環境展2022」（市立豊島体育館）では毎年好評の図書館での保存期間を過ぎた雑誌付録の販売もおこなった。



ダイエーグルメシティ庄内店での出張販売

図書館リサイクル本の常設販売は、令和元年以来3年ぶりに、新型コロナウイルス感染拡大の影響による休止期間を設けることなく、毎月第2・4火曜日に実施することができた。旧・庄内図書館の閉館直前の令和4年12月13日まで16回開催し、年間の販売合計冊数は3,730冊であった。令和5年2月に庄内コラボセンター移転後は5回開催、586冊を販売した。常設販売の拡大版イベント「年に一度の在庫市」は、庄内地域の商店街イベント「庄内バル」参加企画として、庄内文化センター1階ロビーで開催した。

「夏休み子どもプログラム」では、毎年実施している「プリント宿題解決コーナー」・「工作教室(紙すきはがき作り)」に加えて、体験教室として「おぼけやしきのおぼけになろうワークショップ」を実施した。ワークショップ参加者は後日、とよなか縁結実で開催した「REKの夏まつり」のおぼけやしきに出演した。

その他のイベントでは、「まちライブラリーブックフェスタ・ジャパン 2022」参加企画として、「庄内図書館の館長と話そう」を3年ぶりに開催した。庄内コラボセンターの完成を間近に控え、地域のことなどを語り合う場となった。

「庄内瓦版ええやん!しょうない」は特別号を2号発行した。令和4年7月に発行した「しょうないREK夏休み子どもプログラム」は、4,000部製作し、南部地域の小・中学生を中心に配布した。令和5年3月に発行した「最終号」ではしょうないREKの18年間の活動に携わってきた関係者のメッセージを掲載した。

令和4年度は、月例のしょうないREK実行委員会に加えて、「しょうないREK(仮称)南部コラボセンター準備会」を10月までに全9回おこなった。

この会は庄内コラボセンターでのしょうないREKの事業内容や活動体制を検討するもので、この会での協議を経て、協働事業しょうないREKは令和4年度をもって終了し、令和5年度からは、庄内コラボセンターを拠点とした新しい協働事業として再出発することとなった。

協働事業しょうないREK参画メンバーを中心に新たに結成された市民団体「しょうないREK」が、令和4年度協働事業市民提案制度に「カフェとリサイクル本を活用した多世代交流と多文化共生のための場づくりと南部コラボセンターのにぎわい創出」を提案し、審査を経て令和5年度より実施事業として採択された。(なお事業予算を必要としないため、庄内コラボセンターの開設と同時に令和5年2月から事業開始している。)

廃棄本の有効活用を模索していた図書館と南部地域の活性化や共生の推進を思い描いた「地球ママくらぶ」の思いがマッチングしたことによりスタートした市民協働事業しょうないREKは、その役割を次のステージで活かすために発展的解消、庄内コラボセンターを拠点とした市民団体「しょうないREK」による新しい協働事業に生まれ変わった。図書館はこれからも、リサイクル本の活用を中心に、市民団体「しょうないREK」と協働し、庄内コラボセンターのにぎわいや交流の場を創り出していく。



庄内図書館の館長と話そう



しょうないREK実行委員会



庄内コラボセンター1階・REKカフェ

◆ 千里文化センター「コラボ」

5つの施設(公民館・図書館・介護予防センター・市役所出張所・保健センター)がひとつの建物に集まる利点を活かし、行政サービスや文化活動を通じて多くの市民が利用・交流する、市民と行政の協働の場をめざしている。図書館もその一翼を担い、千里文化センター事業などに関わっている。

「コラボまつり」は年に一度、市民の活動発表・作品展示、コラボ内施設の催しなどを実施しているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染状況により、規模を縮小した形での開催となった。

また令和5年3月末には千里ニュータウン情報館での連携事業「ニュータウンを読む」のオンライン企画「私がオススメのニュータウン本大会」に市民とともに千里図書館職員がパネラーとして参加し、ニュータウン関連本を紹介した。

◆ 北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～

市民ボランティア「地域フォトエディター」とともに地域の記録（写真）を収集・デジタル化しキャプションをつけて Web 上で公開している。図書館は北摂アーカイブス事務局として、市民とともに活動している。



野田堤周辺のまち歩きの様子

令和4年度は、活動に携わるフォトエディターのメンバーで、野田堤周辺のまち歩きをおこない、その内容をブログに発信した。北摂アーカイブスの Web サイトでは、今まで昔の風景を掲載することが多かったが、地域の情報をもっと身近に感じてもらえるよう、今の北摂の風景をフェイスブックに投稿するなど、視点を変えて情報発信をおこなった。

また、「図書館情報システム」とこれからの「図書館の役割」をテーマに、毎年、未来の図書館研究所が開催しているワークショップで、当事業を紹介する機会を得た。

なお、令和4年度は「北摂アーカイブス利用規約」の改定、「北摂アーカイブス地域フォトエディター設置要綱」の制定と「地域アーカイブ化事業実行委員会設置要項」の廃止をおこなった。



北摂アーカイブスのフェイスブック

<https://www.facebook.com/hokusetuarchives>

◆ 関係団体一覧

子どもの読書支援	高齢者・障害者読書支援
<p><子ども文庫></p> <ul style="list-style-type: none"> *おひさま岡町文庫 *おひさま文庫 *きずなの里文庫 *くれよん文庫 *Keiおばさんの本の部屋 月よう文庫 *そよ風文庫 *つみ木文庫 *仲よし文庫 *にじいろ文庫 まめぶんこ ゆめのき文庫 <p>(*印は豊中子ども文庫連絡会加入文庫)</p>	<p>大阪声のグループ 豊中点訳会 グループ・エコー さわる絵本 かすみ草</p> <p>多文化読書支援</p> <p>国際交流の会とよなか (T I F A) おかまちおやこでにほんご しょうないおやこでにほんご せんりおやこでにほんご せんりにほんご</p> <p>読書会</p> <p>つぐみ読書会 とよ読書会(豊中市立図書館利用者の会) 豊中読書会 原田読書サークル 木よう読書会</p>
<p>おはなしボランティアポケット 豊中紙芝居の会 千里ストーリーテリングの会 野畑おはなしの会 おはなしたまてばこ おはなしたんけんたい 紙芝居クラブともだちや</p>	<p>朗読グループ</p> <p>草の実会</p> <p>その他</p> <p>豊中図書館の未来を考える会 しょうないREK 地域情報アーカイブ化事業実行委員会</p>

◆ 市民との取り組み事業

事業名	団体名	開催数 (日数)	実施館
子ども読書活動連絡会	子ども読書活動連絡会委員	2	岡町
子どもと本をつなぐボランティア講座	おはなしボランティアポケット	6	岡町
子どもと本のつどい（講演会・原画展）	豊中子ども文庫連絡会	2	岡町
子どもと本のまつり	豊中子ども文庫連絡会	1	岡町
豊中子ども文庫連絡会例会 等	豊中子ども文庫連絡会	11	岡町
おはなしボランティアポケット例会 等	おはなしボランティアポケット	17	岡町
おはなし会がやってきた	ミックスJAM・おはなしボランティアポケット	5	岡町
おはなし会 等	おはなしボランティアポケット	6	幸町
		20	服部
		10	高川
		11	螢池
おはなしプレゼント（定例会）他	野畑おはなしの会	21	野畑
冬のおたのしみ会	Keiおばさんの本の部屋	1	野畑
ブックスタートスタッフミーティング・研修・懇談会	豊中子ども文庫連絡会・おはなしボランティアポケット・登録ボランティア	3	岡町
しょうないREK実行委員会 等	しょうないREK実行委員会	9	庄内
夏休み体験教室・工作教室 等	しょうないREK	5	庄内
古本市（とよなか市民環境展 等）		6	庄内
リサイクル本コーナー		21	庄内
図書館サポーター	登録ボランティア	18	庄内
		18	野畑
見守りサポーター	登録ボランティア	11	庄内
北摂アーカイブス例会 等	北摂アーカイブス	11	岡町
北摂アーカイブス写真展	北摂アーカイブス	(13)	螢池
音訳ボランティアフォローアップ講座（含：選定会議）	グループエコー・大阪声のグループ 他	3	岡町
おかまちおやこでにほんご	おやこでにほんご	37	岡町
しょうないおやこでにほんご		21	庄内
せんりおやこでにほんご		37	千里
せんりにほんご	せんりにほんご	13	千里
YAボランティア活動	YAらぼ	9	千里
千里親子ふれあい広場	赤ちゃんからのESD	6	千里
たかがわ地域子ども教室	千里ネイチャークラブ	8	高川

4. 子ども読書活動推進計画

「第2期豊中市子育て・子育て支援行動計画 こどもすこやか育みプラン・とよなか」に継承した「豊中市子ども読書活動推進計画」の理念に基づき、関係部局・施設・団体・市民と連携しながら、子どもの読書環境の整備と読書活動の推進に取り組んでいる。

令和4年度は子ども読書活動連絡会を2回開催。第1回は「本の広場」として、ジェンダー、多文化共生、子どもの貧困、子ども食堂、新刊絵本、「りんごの棚*」の資料を展示し、テーマにそった本を紹介した。第2回は現在社会問題となっている「ヤングケアラー」について理解を深める機会とし、意見交換とあわせ各委員からの情報提供も積極的におこなわれた。また「とよなかこども読書マップ」をより分かりやすく使い勝手の良いものにするため、従来の3つ折からA4判の1枚ものに変更し、好評であった。



第2回子ども読書活動連絡会

今後も子ども読書活動連絡会の協力体制のもと、子どもの読書活動の推進に取り組む。

* スウェーデン生まれの「特別なニーズのある子どもたちのための資料を展示した棚」。すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうことが目的で、世界各地に広がっている。

5. 事業報告

◆ 暮らしの課題解決

図書館では市民生活のうえで特に関心の高い課題として、4つのテーマ「医療・健康情報（岡町）」・「多文化共生（庄内）」・「ビジネス・就労（千里）」・「子育て・DV（野畑）」を設定している。新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらの関係部局・機関と連携したセミナーや、各テーマにそった資料収集や情報提供などを工夫しておこなった。令和5年3月に策定した「豊中市立図書館みらいプラン」では新たなサービス展開の一つとして暮らしの課題解決などの取り組み推進を掲げており、今後一層の充実をはかる。

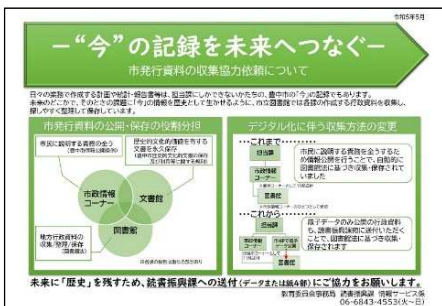
各テーマごとの取り組み（市民協働事業については別途掲載10ページ）

医療・健康情報	<p><講座></p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症サポーター養成講座（6回 会場：岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、螢池図書館 共催：長寿安心課、豊中市キャラバン・メイト連絡会） ○小学生対象の認知症サポーター養成講座（会場：高川図書館 共催：緑地地域包括支援センター高川分室） <p><関連資料の展示・貸出等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○闘病記の巡回展示（庄内、野畑、東豊中、服部図書館） ○図書館Webサイト上の闘病記リストの更新 ○「広報とよなか」の該当箇所を拡大掲示（螢池図書館）
---------	---

<p>多文化共生</p>	<p><選書> ○とよなか国際交流協会を通して、市内在住の外国語を母語とする人へ読みたい本・必要とする本（外国語で書かれたもの）のニーズ調査を実施</p> <p><多文化コーナーのPR等> ○「夏のおはなしランドスペシャル」で外国語絵本の読み聞かせ（会場：庄内図書館 協力：（公財）とよなか国際交流協会） ○庄内図書館リニューアルオープン期間に書架一面を使用して外国語の子どもの本を展示・貸出 ○「あります！多言語の本」展示・貸出、外国語の本のOPACでの検索方法や日本語教室のチラシも設置（千里図書館） ○「子どもと本のまつり」での多言語おはなし会（会場：岡町図書館 協力：国際交流の会とよなか（TIFA））</p>
<p>ビジネス・就労</p>	<p><ビジネス・就労支援サービスのPR> ○くらし支援課を通じて「地域人材活用セミナー」で千里図書館ビジネスコーナー等をPR ○「互助会ニュース」にPR記事掲載（編集・発行：豊中市中小企業勤労者互助会事務局）</p> <p><配本・貸出> ○「豊中しごとセンター」・「とよなか起業・チャレンジセンター」へのビジネス・就労支援関連資料の配本・貸出</p>
<p>子育て・DV</p>	<p><パネル展・資料展示・貸出> ○児童養護施設パネル展示（会場：岡町図書館 共催：大阪水上隣保館 翼）</p> <p><ポスター・資料展示・貸出> ○「じぶんらしさ」みつけよう 男女共同参画週間 連携展示 2022 と共催（会場：岡町、野畑、高川図書館 共催：とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ） ○里親月間啓発展示（会場：千里、野畑図書館 共催：こども相談課）</p>

◆ レファレンスサービス

資料をつかって日常の疑問や、仕事に必要な情報など、市民のさまざまな調べもののサポートをしている。関連機関や相談窓口・専門家の紹介もおこなう。



市政資料の収集協力依頼

レファレンス記録の一部は国立国会図書館レファレンス協同データベースへ登録し、Web公開している。登録事例へのアクセス件数は、参加館898館中第7位、市町村立図書館の中では平成27年度以降8年連続で第1位となった（令和4年12月31日現在）。

レファレンスの回答にあたっては、国立国会図書館デジタルコレクションや新聞記事データベースなどのオンラインデータベースも活用している。デジタル化がすすむ市政資料については、資料送付の協力を市内に呼びかけている。今後も紙、デジタル双方の資料を活用しながら、利用者の多様なレファレンスに対応していく。

◆ 個人貸出サービス

<貸出室・一般図書コーナー>

令和4年度の個人有効登録者数は3.4%減少。継続貸出を除いた成人書の個人貸出冊数は10.0%増加。年齢別貸出人数（15才以上）は10.3%増加している。個人予約件数は、0.8%減少、Webサイトでの予約は1.8%減少した。新型コロナウイルスによる休館の影響で減少した個人貸出人数や個人貸出冊数はここ3年増加傾向にあり、おおむねコロナ禍前に戻りつつある。

令和元年度と令和4年度を比べると、個人貸出人数は1.7%増加しているが、個人貸出冊数は2.6%減少。また、個人予約件数は24.7%増加しており、予約方法の内訳を見るとコロナ禍を経てインターネット予約をして借りる傾向が続いている。

令和4年度は7月に電子書籍の貸出サービスが始まったが、各図書館カウンターで利用登録、更新の際に、広報誌などでサービスを知って図書館に来館したという利用者の声が多く聞かれた。

- 登録率 34.0%
- 個人有効登録者数 135,568人
- 年齢別貸出人数（15才以上）821,072人
- 継続貸出を除く個人貸出冊数（成人書）1,672,610冊
- 個人予約件数 952,758件
- 個人予約件数（Web+携帯）810,137件
- 個人予約件数（館内）142,621件
- デジタル図書館貸出冊数 7,214冊

<こども室・児童書コーナー>

14才以下の個人有効登録者数は4.7%減少したが、年齢別貸出人数は4.2%増加した。また、児童書の貸出冊数は7.8%の増加、個人貸出冊数は8.0%増加した。

令和元年度と令和4年度を比べると、個人貸出人数は8.9%増加しており、児童書の個人貸出冊数は23.4%の伸びを示している。

定例のおはなし会は、感染対策を講じながら、少人数や事前申込制にするなど工夫をして実施した。複数館でおこなってきた「本の福袋*」は定着しつつあり、年齢・学年や、季節に合わせた選書で好評を得た。

岡町、高川図書館での6年生平和学習新聞の掲示ほか、多くの館で学校図書館との連携展示を実施した。岡町図書館は都市整備課主催の「とよなか芝生Night Theater ザ・トライアル」（映画の屋外上映イベント）に資料を提供、庄内図書館は公民館主催の「キッズランド」に参加、螢池図書館は地域の子育て関連施設と共催で「すすくおはなしタイム」を実施するなど、他部局などとも連携を深めた。

- 個人有効登録者数（14才以下）21,141人
- 年齢別貸出人数（14才以下）165,161人
- 継続貸出を除く貸出冊数（児童書、団体含む）1,272,097冊
- 継続貸出を除く個人貸出冊数（児童書）1,191,149冊

* 対象年齢やテーマを絞って職員が選書した本を数冊組み合わせ、書名が見えないように包装して貸し出す。

◆ ブックスタート事業「えほんはじめまして」

絵本を通して赤ちゃんと保護者が楽しいひとときを過ごし、心ふれあう時間を持つきっかけとなることを目的とし、子育て・子育て支援事業の一環として4か月児健康診査時に実施している。図書館とおやこ保健課（旧母子保健課）、そして「豊中子ども文庫連絡会」・「おはなしボランティアポケット」をはじめとする市民ボランティアが連携・協働し、絵本を手渡してきた。この事業は、母語が外国語の人や障害のある人を含む、市内の

すべての赤ちゃんとその保護者との関わりを持つ貴重な機会である。



ブックスタートスタッフ研修

しかしながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度も引き続き会場で直接絵本が入ったブックスタートパックを保健師から手渡す形とした。

スタッフミーティングなどは感染拡大防止対策のうえ、子育て支援センターほっぺ南部分室や庄内保健センターが入る庄内コラボセンターで見学を含めて実施し、懇談会は岡町図書館でおこなった。令和3年度に続き青山台文庫・絵本学研究所主宰の正置友子さんを講師に迎え「子どもの育ちと絵本について学ぶ」をテーマに講演会を開催し、スタッフの研修の機会とした。

◆ ヤングアダルト（YA）サービス

ヤングアダルト（YA）とは、主に中学生・高校生（12～18才）の世代をさす。

野畑図書館では令和3年度好評であった中学校生徒のおすすめ本リスト「中学生のおすすめ続々」、本の紹介POP展示を学校図書館と連携して引き続きおこなった。千里図書館ではYAらぼ（YA世代のボランティア）の活動として、令和3年度は主にメールでのリモート活動だったが、令和4年度は来館での活動を再開している。また、「ミニときどき！おはなし会」にも参加し、絵本の読み聞かせを通じて子どもたちやその保護者との交流の機会をもった。庄内図書館では庄内コラボセンターのオープニングイベントとして、豊中高校「志学」ボランティアによるウェルカムボード作品を展示した。



野畑エリアの中学生のPOP展示

- 個人有効登録者数 (12～17才) 15,593人 (18～21才) 5,676人
- 年齢別貸出人数 (12～17才) 46,767人 (18～21才) 11,849人

おもな取り組み	実施館
豊中高校ボランティア「志学」の受け入れ	岡町、庄内、千里図書館
中学生職場体験学習おすすめ本POP作成	岡町、千里図書館
高校情報パンフレット展示と配布	岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、服部、高川、螢池図書館
各館の取り組み	
とよなか男女共同参画推進センターすてっぷと連携し「じぶんらしき」をみつけるための資料展示を実施・とよなかっ子ラインにて司書のおすすめ本を紹介	岡町図書館
学校図書館を通じてエリアの小中学校と連携した「しょうないっこのすきな本」展示を実施	庄内図書館
市内高校への学校訪問・YA!BOOKS通信発行・YAらぼによるおすすめ本紹介POP展示、ミニときどき！おはなし会・千里青雲高校文化祭において図書館紹介のブース設置・千里青雲高校図書委員によるおすすめ本紹介POP展示	千里図書館

第二中学校生徒調べ学習展示・第二、第十一、第十四中学校生徒によるおすすめ本紹介POPの展示「中学生のおすすめ続々」	野畑図書館
小中学校連携巡回POP展示	東豊中図書館
第十二中学校生徒によるエリア内小学校での紙芝居会への資料提供、後日生徒の感想を展示・エリア内の小中学校と連携し夏休み中にスタンプラリーを実施・小曾根小学校6年生平和月間学習新聞の掲示・とよなか男女共同参画推進センターすてっぷと連携し「じぶんらしき」をみつけるための資料展示を実施	高川図書館
螢池エリアの小中学校の学校図書館紹介と第十三中学校図書委員による「おすすめ本のPOP」展示と紹介本の展示	螢池図書館

◆ 高齢者サービス

令和3年3月に、図書館協議会から提出された「豊中市立図書館における高齢者サービスのあり方について（報告書）」を踏まえ、高齢者が社会、地域とつながり、人生をより豊かに生きる社会の実現に向けて、以下のように取り組んできた。

施設的环境面では階段手すり設置などの施設のバリアフリー化、車いすの貸出、血圧測定器の設置、老眼鏡・リーディングルーペ・拡大読書器の貸出、耳が不自由な方への磁気ループの設置など、各図書館の施設環境に応じて整備・提供している。また市内を巡回する動く図書館には、車いす用電動リフトを搭載している。

図書館資料としては大活字本や朗読CD・朗読カセットテープを所蔵し、庄内図書館の「シニアライフ応援コーナー」、螢池図書館の「人生100年を考えるコーナー」、岡町図書館の「医療・健康情報コーナー」では高齢者のニーズが高い資料を1か所に集約し、探しやすい資料配置としている。また市内全域の高齢者施設5団体にリサイクル図書789冊を譲渡した。施設職員や読み聞かせボランティアによって、図書館資料を使用しての高齢者向けのおはなし会もおこなわれている。



シニアライフ応援コーナー

連携事業としては各図書館(岡町・庄内・千里・野畑・東豊中・螢池)で、長寿安心課および豊中市キャラバン・メイト連絡会と共催し、「認知症サポーター養成講座」を通年で6回実施した。同講座では関連図書の展示・貸出や、図書館職員による医療・健康情報のメディアリテラシーについての啓発活動もおこなった。高川図書館では緑地地域包括支援センター高川分室との共催で小学生対象の「認知症サポーター養成講座」を8月に開催。夏から冬にかけては「たかがわ地域子ども教室」を8回主催した。同教室では高齢者の経験と特技を地域の子もたちに伝え、異世代交流の場ともなっている。庄内図書館では庄内公民館と連携し、高齢者の参加が多い公民館講座で図書の展示・貸出とブックリストの配布をおこなった。



認知症サポーター養成講座

そのほかの取り組みとして、庄内、野畑図書館では、図書館サポーターとして高齢者の参加もあり、意欲的に取り組む姿が見られる。



たかがわ地域子ども教室

◆ 障害者サービス

令和4年度は音声デジター図書*1を郵送により取り寄せる方式からインターネットを介してデータをダウンロードして提供する方法に改めた。郵送期間の省略によって提供までの期間が短縮されることもあり、貸出数は1.4倍になった。学校へ触地図*2の貸出もおこなった。印刷（墨字）図書の郵送貸出の充実など障害者サービスを強化するため、先進自治体に職員を派遣し、研修をおこなった。

音点訳図書の製作候補の選定にあたっては例年同様に個別に聞き取りをし、利用者のリクエストも反映できるようにした。豊中市立図書館からも国立国会図書館・サピエ図書館*3を通してデータ提供しており、新しく製作した音声デジター図書が全国で最多リクエストとなったこともあった。「音訳ボランティアフォローアップ講座*4」を2回実施した。点訳については外部機関に印刷（墨字）図書のテキストデータ化を依頼し、図書館で点字データに変換した後、製作ボランティアの点字校正を経て、点字図書として提供する試みをおこなった。

D a i g a sグループ小さな灯運動からプレクストークPTN3*5の寄贈があり、伊藤忠記念財団からマルチメディアデジター図書「わいわい文庫」の寄贈があった。マルチメディアデジター図書については引き続き市販品の購入もおこなった。また、障害者サービスについて広く知ってもらうための展示を岡町図書館の貸出室でおこなった。障害者サービス資料についてテーマごとに展示することで、障害者サービスの対象ではない来館者からも関心を持ってもらうきっかけになった。

図書館協議会では図書館での読書バリアフリーの取り組みについて、令和3年度から引き続いて議論された。すべての人の「わたしの図書館」をめざし、今後もアウトリーチサービスの充実はもとより、利用しやすいサービスの提供につとめる。

- *1 音声情報を圧縮して記録した録音図書。
- *2 触覚により空間認識をおこなうための地図。本市で所蔵しているのは大阪府の触地図（木製）。
- *3 音点訳図書をはじめとする障害者用資料の所蔵施設などが調べられる全国的な書誌データベース。
- *4 音訳ボランティアの技術向上のため実施している講座。
- *5 視覚に障害のある人が読書するための卓上型音声デジター図書再生機。

◆ 行政へのサービス（庁内仕事応援事業）

庁内各部局に対する資料の貸出やレファレンスサービスに加え、ブックリストの配布や庁内サイトへの掲示による、各職階の新任職員研修や課題研修で関係資料の紹介など情報提供をおこなっている。レファレンスは、「メール以外のデジタルツールを使って行政の事業を行っている事例」や「統計的手法の処理方法が掲載された図書」など施策立案関連の依頼が多かった。

◆ 団体へのサービス

学校、放課後子どもクラブ、幼稚園、保育所（園）、こども園、高齢者施設、障害者施設、子ども文庫・おはなしボランティアグループ・読書会などの市内の活動グループに資料貸出などの支援をおこなっている。

<学校図書館>

学校内での児童・生徒のリクエスト対応の支援や、調べ学習に使用する資料の提供などを実施している。

毎年2回開催している公共図書館司書と学校司書との地域館交流会はコロナ禍以前のように対面で実施し、公共・学校間およびエリアの学校間での情報交換などをおこない、連携事業をすすめている。例えば、小中学校の児童・生徒が作成したおすすめ本のPOPなどを展示するとともに、紹介された本の展示・貸出を公共図書館でおこなった（庄内、千里、野畑、東豊中、螢池図書館で実施）。

螢池図書館ではロビー展「学校図書館大集合！」をおこなった。この展示は、螢池エリアの学校図書館の取り組みや公共図書館と学校図書館が連携していることを市民に広く知ってもらうことを目的としている。他校の取り組みや、進学する中学校の図書館について知りたいという児童の要望に応えるとともに、学校図書館を利用する児童・生徒の様子がよくわかるという市民からの声がある。

高川図書館では、夏休みスタンプラリーを実施したほか、第十二中学校の生徒が小学生に向けておこなう紙芝居会のために資料の選書と提供、感想の掲示をおこなった。また、担当エリアの小中学校卒業生全員にYAコーナーのPR文を配布。小中学校教員には豊中市立図書館の利用方法に加え、教員支援用資料の検索方法やその貸出ベストを紹介した。

令和4年度は小中学校図書館への貸出冊数は前年比7.2%増。

■小中学校図書館への貸出冊数 50,390冊

<学校図書館支援ライブラリー>

学校図書館の「読書」・「学習・情報」・「教員支援」の3つの機能をサポートしている。

令和4年度は「総合百科事典ポプラディア第三版」や動物図鑑の追加購入や、新しい種類の昆虫図鑑や乗り物図鑑・ポケット版植物図鑑を新たに購入した。また螢池図書館に所蔵していた教員支援用資料を令和5年2月に庄内コラボセンターに移転した庄内図書館に一部移管し、コーナーを開設した。



学校図書館支援ライブラリー

<幼稚園・保育所（園）・こども園・放課後こどもクラブなど>

幼稚園・保育所（園）・こども園・家庭保育所・認可外保育所に団体貸出をおこなっている。季節や行事などに関係する資料や、平和・家族・仕事などのテーマの資料に関するリクエストも多い。貸出や受取場所などについて各施設の相談にも応じ、選書・配本など支援している。

乳幼児施設への出前講座のあり方を見直し、従来の絵本の貸出や団体リサイクルに加え、0歳児、1歳児の絵本リストの作成・提供をおこなった。

放課後こどもクラブへは、申し込みがあった34校に団体リサイクル本「ひと箱おまかせパック」を配達した。

<子ども文庫>

市内の子ども文庫は12文庫。そのうち「豊中子ども文庫連絡会（豊子連）」加入は9文庫。それぞれの地域で子どもに本を手渡し、子どもの育ちを見守る活動が続けられている。子どもの身近な居場所として、また、子どもをとりまく大人の交流の場として地域に根づいている。図書館は長期の団体貸出や必要なテーマの資料を提供するなど文庫活動の支援につとめている。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、定期的には開庫できない文庫もあったが、時間や人数を制限するなど工夫をしながら活動し、徐々に従来の文庫の状態に戻りつつある。



「子どもと本のまつり」



「子どもと本のつどい『和ろうそくは、つなぐ』」

「子どもと本のまつり」は7月に開催。新型コロナウイルス感染防止につとめながら事前申込制にし、5つのおはなし会と手作り工作をおこなった。国際交流の会とよなか（T I F A）協力のもと、中国語とウクライナ語による多言語おはなし会も実施した。「子どもと本のつどい」では、写真家・映画監督の大西暢夫さんを講師に「『和ろうそくは、つなぐ』～巡りつなぐる職人の仕事～」を11月に開催、Web 会議システムによるライブ配信も同時におこなった。写真展も同時期に10日間開催した。なお、この講演会の様子は豊中市ユーチューブ「とよなかチャンネル」で動画配信している。

<おはなしボランティア>

令和4年度後半は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限が少しずつ緩和され、放課後こどもクラブなどでの読み聞かせを再開した学校も多くみられた。それにともない多くのボランティアグループがおはなし会の回数や人数などに応じたプログラム作りを工夫し、図書館では選書や打ち合わせなどの機会に相談を受けることも増えた。図書館に関連する各グループの活動内容については「市民との取り組み事業」（10ページ）を参照。「子どもと本をつなぐボランティア講座」（全6回）を実施したほか、「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」として、令和4年度の新刊絵本を会場に集めた「絵本の広場」を3日間開催。新たな絵本との出会いやボランティア同士の情報交換、交流の場とした。同時に豊中市在住の絵本作家・国松エリカさんのスペシャルトーク「絵本のタネを育てる」と職員による絵本紹介もおこなった。

◆ 動く図書館「とよ1ぶっくる」による巡回サービス

図書館から離れたエリアや来館が困難な子どもたちの通う児童発達支援施設など合計21か所へ、動く図書館車で約4週間に1回ずつ巡回サービスをおこなった。動く図書館車の積載冊数は約3,000冊と限られているが、資料の入れ替えを定期的におこなうことで、いつ見てもなにか新しい資料を手にとっていただけるよう心がけた。個人の貸出冊数はコロナ禍以前よりも増加傾向にあり、年代別に見ると30～40代の子育て世代や学齢期の子ども、後期高齢者など、遠くまで出歩くことが難しいと思われる人がよく利用されている。車内での特集展示として、特別なニーズのある子どもたちの読書の手段を紹介する「りんごの棚」の展示をおこなった。今後来館が困難な人のためのアウトリーチサービスの一環として、新たな施設配置での利用状況に応じて、利用者一人ひとりのニーズをくみ取りながら多様な資料を届けていきたい。

施設への巡回サービスについては、平成13年より続けていた刀根山支援学校への巡回サービスが3月まで

で終了した。同じステーションで時間をずらして実施していた個人利用者や近隣保育園などへのサービスが継続できるよう、「アトリオとねやまこども園前」での巡回を令和5年4月から開始することとなった。

児童発達支援センター、児童発達支援事業所あゆみ、豊中支援学校にて「おはなし会がやってきた！」をおはなしグループと図書館職員でおこなった。プログラムにはパネルシアター、手遊びや歌も取り入れ、クラスごとにさまざまな反応が見られた。今後も本事業を通じて、子どもたちが本に出会い、その楽しさを知ってもらう機会としたい。

■貸出人数 7,133人 ■個人貸出冊数 48,578冊



ステーション巡回



「りんごの棚」

◆ 図書室

いぶき図書室は、青年の家いぶき改修工事により令和3年3月に休室し、4月から令和4年3月まで近隣の共同利用施設「穂積センター」の玄関口で、週2回午後2時から午後4時までサービスを提供していた。令和4年4月から青年の家いぶきと少年文化館が施設統合した「青少年交流文化館いぶき」で、新たに「豊中市立図書館 青少年交流文化館いぶき（3階）サービス」としてサービスを実施している。内容は、①予約確保資料の受け取り②貸出資料の返却③リクエスト票の預かりなどである。サービス提供時間は週4時間から週7時間に拡大した。

利倉西センター図書室には5,466冊の資料があり、週2回午後2時から午後5時まで開室している。令和3年度に比べ貸出人数および冊数でそれぞれ25.2%と31.9%の増加となっている。豊島西小学校内のバス図書室の移転から4年が経過し、利倉西センター図書室の認知度も徐々に上がってきていることや、コロナ禍が落ち着き開室日が増えるのにもとない、利用も増加している。

(利倉西センター図書室) ■貸出人数 2,473人 ■貸出冊数 7,632冊
(青少年交流文化館いぶき（3階）サービス) ■貸出人数 3,485人 ■貸出冊数 7,874冊

◆ 資料の収集と保存

資料の収集は職員で構成する選書委員会で、毎週1回、市内全図書館の資料の選書をおこなっている。「豊中市立図書館資料収集方針」（図書館 Web サイトで公開）に基づき、市民の主体的な生涯学習活動を支援していくために市民の要望および社会の動向にも配慮しながら、教養・調査研究・レクリエーション・ビジネス・日常の課題解決に役立つ資料を幅広く収集している。

また電子書籍については、電子書籍導入チームと選書委員会で選書をおこなった。多様な層が利用できる従

来の書籍に対し、電子書籍は読む場所を選ばず、文字の拡大も可能、音声読み上げ機能を備えるなどいろいろな読書方法に対応しており、それぞれの特性を考慮して選書をしている。

保存については、野畑図書館書庫を豊中市立図書館全体の書庫としている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また限られた職員で効率的に蔵書更新をおこなうため、全館の担当者が集まるという検討方法を見直し、それぞれの図書館で個々の資料について合議による検討をおこない、野畑図書館書庫で選別し、保存している。

◆ 人権・平和に関する取り組み

市民向けの取り組みとして、講演会や各種資料展示・パネル展を実施し、市民と職員がともに人権・平和について考える機会としている。

また、職員が人権について理解を深め、市民への啓発につなげるため、年3回の研修をおこなっている。

市民向け人権講演会・資料展示・パネル展
人権講演会「児童相談所ってどんなところ？」社会福祉法人大阪水上隣保館 翼 施設長 土井聡子さん（共催：こども相談課）
資料展示「戦争と平和（平和月間）」
資料展示「男女共同参画週間連携展示 2022（男女共同参画週間）」（会場：岡町、野畑、高川図書館 共催：すてっぷ）
資料展示「人権関連資料（人権月間）」（会場：各図書館 螢池図書館は通年）
参加型展示「平和の木」（会場：庄内、東豊中図書館）
作品・資料展示「小曾根小学校6年生平和学習新聞」（会場：高川図書館）
作品・資料展示「第四中学校夜間学級作品展」（会場：東豊中、服部、高川、螢池図書館）
パネル・資料展示「児童養護施設パネル展」（会場：岡町図書館）
ポスター・資料展示「里親月間連携展示」（会場：千里、野畑図書館 共催：こども相談課）
作品・資料展示「読むことが困難な子どもたちの読書の手段を紹介する『りんごの棚』展」 （会場：庄内図書館）
作品展示「原田小学校6年生平和学習の作品」（会場：岡町図書館）
職員研修
地域の多文化共生について～「コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査報告書」より～ 豊中市立図書館全体の合同研修。とよなか国際交流協会、人権政策課職員によるオンライン・対面型講義。終了後質問や感想を共有。
法務省監修の動画「高齢者虐待」を視聴。事前配布資料「ともに生きる時代へ～高齢社会と人権」および「豊中市立図書館における高齢者サービスのあり方について」の内容とあわせて高齢者を取りまく状況の把握と高齢者に対し図書館ができる今後のサービスの可能性について検討。
DVD「人 とよなか 寺本知」（一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会）の視聴、アンケート・振り返りシートの作成。職員間での共有。
「図書館の人権資料について」 冊子「豊中市立図書館における人権問題資料と制限資料」をもとに、豊中市立図書館が所蔵する人権資料や利用制限資料、これまでの事例等を振り返り、その経緯や対応を確認。終了後受講感想、振り返りシートの作成。

◆ 研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの研修がリモートでおこなわれた中、会場参加可能な研修も再開され始めた。

令和4年度は国立国会図書館に職員を派遣し、情報発信やその運営などについて学んだ。

また、吹田市立図書館と相互に職員派遣研修をおこない、本市は吹田市立図書館の障害者サービスを、吹田市は本市の学校図書館支援などについて学んだ。

教育委員会事務局各課で所管業務を紹介する動画を作成し、毎月1課の紹介動画を視聴し、各職場の業務内容を共有した。このほかにも、令和4年度は行政職員としての知識や技術習得のため、庁内の一般研修を積極的に受講した。

職員が受講した主な研修（職場研修、個人研修含む）

専 門 研 修	一 般 研 修
令和4年度図書館司書専門講座	契約事務研修
令和4年度大阪府図書館司書セミナー 「箕面市立船場図書館の運営」等	クレーム対応研修
令和4年度サピエ研修会	NEW EDUCATION EXPO 2022
令和4年度図書館地区別研修	法務スキルアップ研修
講演と新刊紹介紹介 2021年に出版された子どもの本	認知症サポーター養成講座
令和4年度大阪公共図書館大会	情報セキュリティ研修
大子連児童文化講座 「絵本のこと」等	人権研修主任推進員・推進員等合同研修
令和4年度新任図書館長研修	教育委員会事務局業務内容紹介研修
令和4年度ブックスタートスタッフ研修	
子どもと本をつなぐボランティア講座	
吹田市立図書館障害者サービス研修	
令和4年度音訳ボランティアフォローアップ講座	
国立国会図書館情報発信・広報研修	
計：46 講座 67 人参加	計：36 講座 1,373 人参加

6. 情報発信（広報・広告など）

市民サービスの向上および地域の活性化をはかるため、各種媒体を活用した情報発信・広報・広告事業をすすめている。

令和4年度は教育委員会の公式ツイッターが開設され、図書館からも各種サービスや行事の発信、新着資料の紹介などをおこなった。「とよなかっ子ライン」（こども支援課）においても、児童・生徒に向けて本の紹介を月1回おこなっている。また下記のメディアに豊中市立図書館に関する記事などが掲載された。

メディア掲載一覧

タイトル・内容等	メディア		種類
ニュース欄：【豊中市】ガンバ大阪オフィシャルイヤーブック2022 図書館貸出のお知らせ（図書館での資料貸出や関連展示を紹介）	ガンバ大阪オフィシャルサイト	2022.5	Web
庄内図書館おはなし会のお知らせ	ほっぺちゃん通信	2022.5	
読みもの：[大阪府豊中市] QRコード付きの手紙で届ける子育て応援メッセージ（コロナ禍でのブックスタートの取り組み紹介）	NPOブックスタート Webサイト	2022.6	
記事：【調査ネタ】服部元町にある「豊中服部郵便局」が開局から100周年を迎えたんだって／豊中市内で一番最初に設置された郵便局はどこなのか調べてみた（岡町図書館でのレファレンスサービス活用）	TNN豊中報道。2	2022.6	
記事：豊中市デジタル図書館 電子書籍貸出サービスを開始	PR TIMES	2022.6	
記事：「豊中市デジタル図書館」ができたみたいなのでタブレット片手に千里図書館へ行って「電子書籍の借り方」を聞いてきた（豊中市デジタル図書館の紹介）	TNN豊中報道。2	2022.7	
電子書籍貸出サービス開始のお知らせ	ほっぺちゃん通信	2022.7	
記事：【豊中】世界の絵本にも出会える！？子どもから大人まで楽しめる「岡町図書館」	リビング北摂Web	2022.8	
記事：【豊中】3000冊の本を載せて市内を巡回！「動く図書館」の長い歴史と市民への思いやり	リビング北摂Web	2022.9	
記事：図書委員からのお知らせ#13（文化祭での図書館出展・YA!BOOKS通信配布の紹介）	大阪府立千里青雲高等学校図書ブログ	2022.10	
大西暢夫 講演会『和ろうそくは、つなぐ』～巡りつながる職人の仕事～の開催案内	TNN豊中報道。2、ほっぺちゃん通信	2022.11	
第11回子ども読書活動フォーラムの開催案内	号外NET豊中市	2022.12	
記事：あけましておめでとうございます#21（千里図書館でのPOP展示のお知らせ、千里図書館の紹介）	大阪府立千里青雲高等学校図書ブログ	2023.1	
庄内図書館と庄内幸町図書館の移転休館のお知らせ	号外NET豊中市	2023.1	

イベント紹介：豊中の図書館の未来を考えるシンポジウム	カレントアウェアネスR	2023.1	Web
人権講演会「児童相談所ってどんなところ？」のお知らせ	ほっぺちゃん通信	2023.1	
「庄内コラボセンター（ショコラ）」オープンのお知らせ	大阪日日新聞、 まちっと北摂、 リビング北摂Web	2023.2	
記事：南部地域の拠点施設 庄内コラボセンター「ショコラ」オープニングセレモニー開催	PR TIMES	2023.2	
記事：最新のキレイな「図書館」に広くて明るい「子育て支援施設」も／2月20日（月）にグランドオープンする「庄内コラボセンター（ショコラ）」に一足早くお邪魔して館内をぐるっと見て回ってきた（庄内図書館を紹介）	TNN豊中報道。2	2023.2	
新着情報：豊中市立庄内図書館のイベントで国文学科教授の田原広史先生が講演会を開催されます（庄内図書館での講演会「田辺文学と大阪弁」の案内）	大阪樟蔭女子大学 Webサイト	2023.2	
庄内図書館おはなし会のお知らせ	ほっぺちゃん通信	2023.3	
新しくなった庄内図書館の案内	ほっぺちゃん通信	2023.3	
記事：豊中市立図書館みらいプランを策定 人・情報をつなぎ まちの魅力を高める図書館に	PR TIMES	2023.3	
特集「雨の日だって子どもと楽しく過ごそう！」で、ショコラ内に移転オープンした庄内図書館の紹介	とよなか子育て応援 マガジンSMILE	2023.3	
市内の図書館の連絡先とWebサイトの案内、「赤ちゃん図書館へ行こう！」（図書館の案内）	まみたん北摂版	2023.3	
記事：新しい図書館車の紹介「とよ1」	図書館車の窓	2022.7	PR誌
JOINひと・まち・みどり 岡町図書館長インタビュー	パークライフ	2022.10	
動く図書館@植物園&リサイクル本の販売			
動く図書館の紹介	ふるさと刀根山	2022.6	校区広報誌
12・1月の動く図書館巡回日程案内、電子書籍サービスの紹介		2022.12	
3・4月の動く図書館巡回日程案内、りんごの棚特集展示の案内		2023.2	

7. 職員による出前講座・講師派遣、視察

各種イベントや講座会場など市内外のさまざまな市民参加の場に出向いて、関係機関と連携しながら講座や資料提供をおこなっている。テーマにそった関連資料を紹介・提供し、子どもから大人まですべての世代が読書に親しむ機会や、より広く深く情報を得られる機会となるようつとめている。

令和4年度は新型コロナウイルスの感染対策が緩和されつつあり、オンラインでの開催とともに対面で実施する機会も増えた。

出前講座

<子育て中の保護者を対象にした絵本講座>

「子育てサークル・子育てサロン」「千里親子ふれあい広場」
「絵本の読み聞かせについて（南桜塚小学校PTA）」等

<学びの場での子どもの読書に役立つ図書館活用講座>

「新任学校司書研修」「校内研修」「マチカネ先生塾」等

各種講座での資料・図書館紹介

「認知症サポーター養成講座」「認知症サポーター養成講座（小学生対象）」「公民館各種講座」
「私がオススメのニュータウン本大会（オンライン）」等

講師派遣

- ・講演「子どもと本をつなぐ～学校図書館にできること」（吹田市立中央図書館）
- ・レファレンスデータベース企画協力員会議（国立国会図書館関西館・オンライン）
- ・ワークショップ「図書館員の未来準備」（ヴィアックス本郷研修センター・オンライン）
- ・第24回図書館総合展りぶしる主催フォーラム（オンライン）
- ・福岡県公共図書館等協議会職員研修会（福岡県立図書館）
- ・令和4年度ステップアップ研修（滋賀県立図書館・オンライン）
- ・2022年度児童図書館研究会全国学習会（大阪コロナホテル）
- ・第18回レファレンス協同データベースフォーラム（オンライン）

視察受入

<視察>（ ）は受入施設

- ・神戸市教育委員会：学校図書館等読書活動支援システム（岡町図書館・克明小学校）
- ・吹田市立中央図書館：とよなかブックプラネット・学校図書館活用（岡町図書館・教育センター）
- ・とよなか地域創成塾：しょうないREK、協働事業スペースの見学（庄内図書館）
- ・高崎市立中央図書館：複合施設でのこども図書館新設に向けて（千里図書館）

<インターンシップ・実務研修>

- ・吹田市立中央図書館：百科事典の利用教育（寺内小学校）
- ・豊中高校ボランティア志学（岡町、庄内、千里図書館）

8. 図書館協議会

令和4年度は3回(7、11、3月)開催された。

(仮称)中央図書館基本構想の推進と読書バリアフリーをめざす社会動向を受け、豊中市立図書館における障害者サービスのあり方について議論をおこなった。2年間の議論の結果を「豊中市立図書館における読書バリアフリーの取り組みのあり方について(報告)」としてまとめられた。

また臨時部会として図書館協

令和4年度の委員一覧

名 前	団 体 名・役 職 等
橋 本 真 理	小学校長会代表
道 上 博 行	中学校長会代表
永 富 奈 緒 美	こども園長会代表
天 瀬 恵 子	豊中図書館の未来を考える会
松 田 美 和 子	豊中子ども文庫連絡会
◎ 岸 本 岳 文	学識経験者
○ 瀬 戸 口 誠	学識経験者
山 本 晃 輔	学識経験者
曾 我 部 和 子	市民公募

◎委員長 ○委員長職務代理者

議会図書館評価部会が開催され（12、1、2、3月）、平成29年度から令和3年度の5年間の図書館活動を振り返り、外部評価を実施した。

会議録は図書館Webサイトで公開している。

令和4年度の図書館評価部会委員一覧

名 前	団 体 名・役 職 等
◎ 瀬戸口 誠	学識経験者 (図書館協議会委員)
天瀬 恵子	社会教育関係者 (図書館協議会委員)
吉田 哲平	学識経験者 (商工会議所)
津田 優子	学識経験者 (NPO法人)
平尾 和久	市民公募

◎部会長

9. 図書館評価

図書館運営を振り返り、効果的・効率的な運営と、より一層の図書館サービスの向上および地域との情報共有をはかる仕組みとして、平成20年度から「豊中市立図書館評価システム」（以下、「評価システム」）を導入し、図書館運営に関する自己点検と外部評価を実施している。毎年の評価項目・指標については「豊中市の図書館活動Ⅱ 統計・資料」に簡略化して掲載している。

それまで「評価システム」でおこなっていた進捗管理を「豊中市立図書館の中長期計画（豊中市立図書館グランドデザイン）」（以下、「グランドデザイン」という。）の策定を機に、平成26年度からは「グランドデザイン」の進行管理と一体化した。さらに、令和2年度は「豊中市（仮称）中央図書館基本構想」（以下、「基本構想」という。）の策定に際し、「グランドデザイン」の目標設定や進行管理は基本構想に包含する形で継承されることとなった。

令和4年度は、図書館協議会の臨時部会として図書館評価部会を12月から令和5年3月にかけて4回開催。「平成29-令和3年度豊中市立図書館評価システム自己点検報告書」・「来館者アンケート報告書」を基本に議論を重ねた。おおむね堅実な活動をおこなっていると評価をいただく一方で、他自治体と比較し豊中市のサービスを相対的に確認する評価項目の設定、来館者アンケートの自由記述にみられる行政サービスとしての図書館のあり方について市民の意見をどのように反映させるかなど継続的に取り組むべき点などが指摘された。

なお、図書館評価部会の資料・議事録および「豊中市立図書館の運営状況に関する評価報告書」の詳細は図書館Webサイトで公開している。

10. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

夏休み期間には休館日の図書館（岡町、千里、野畑、高川図書館）を利用し、学校図書館司書と公共図書館司書が連携して、小学校4～6年生の児童が調べ学習の一連の流れを体験する「知的探究合戦 めざせ！図書館の達人」を開催した。その優勝4チームの発表と、市立中学校生徒を対象とした「豊中市ビブリオバトルチャンピオンシップ中学生大会」をあわせて、豊中市立文化芸術センター小ホールで「子ども読書活動フォーラム」を開催し、児童生徒の成果発表の場として、読書活動・学習活動の活性化をはかった。

11. (仮称) 中央図書館基本構想

「豊中市(仮称)中央図書館基本構想(以下、「基本構想」という。)」の推進にあたり、令和4年度に実施した主な取り組みは以下のとおり。

<図書館ネットワークの未来を考えるワークショップ>


10月から11月にかけて計4回、市民ワークショップを開催した。毎回20人程度が参加し、市立図書館に期待する思いや新しい図書館ネットワークに関すること、中央館や地域館、分館、サービスポイントなどの役割や機能について話し合った。また(仮称)中央図書館の適地選定のポイントについて意見交換するなど、基本構想を進める中で市民の意見を聴く機会となった。



ワークショップ

<豊中の図書館の未来を考えるシンポジウム>

令和5年1月に「豊中市立図書館みらいプラン(素案)」を公表した。同プランの内容を説明するとともに、これからの本市の図書館像を考えるためのシンポジウムを開催した。当日、108人(内オンライン46人)の参加があった。その後、説明会や出前講座など、内容を周知する機会を設けた。

内 容	講 師・担 当 等
<p>【説明】 「豊中市立図書館みらいプラン(素案)」について 意見公募(パブリックコメント)の案内</p>	<p>読書振興課職員</p> 
<p>【基調講演】 これからの公立図書館について</p>	<p>伊丹 康二さん (武庫川女子大学准教授)</p>
<p>【パネルディスカッション】 豊中らしい新しい「図書館」について ①近年の他都市における図書館について ②豊中の図書館で大切にしてきたこと、これから大切にしたいこと～市民の立場から ③豊中らしい新しい図書館について</p>	<p>進行：伊丹 康二さん パネリスト： 豊田 高広さん(フルライトスペース(株)) 天瀬 恵子さん(豊中市立図書館協議会委員他) 須藤 有美(読書振興課長)</p> <p>会場：豊中市すこやかプラザ</p>

<豊中市立図書館みらいプラン策定>

「豊中市立図書館みらいプラン（素案）」の公表後、1月17日から2月6日の間、意見公募を実施。203の個人・団体から計681件の意見が寄せられた。加えて出前講座や説明会での意見交換の内容なども踏まえ、令和5年3月、「豊中市立図書館みらいプラン」を策定した。

同プランでは現状分析に基づき、①図書館各館の機能・配置見直し②中央館機能の設置③効率的で効果的な図書館運営の3つの課題について整理。新たな図書館像（人と情報、人と人をつなぎ、まちの魅力を高める図書館）と3つのビジョンを示した。併せて中央館（新設）、地域館（庄内・千里）、分館（野畑・東豊中・高川・螢池）、サービスポイント（既設・新設）それぞれの配置案を3つの中央館候補地ごとに公表した。

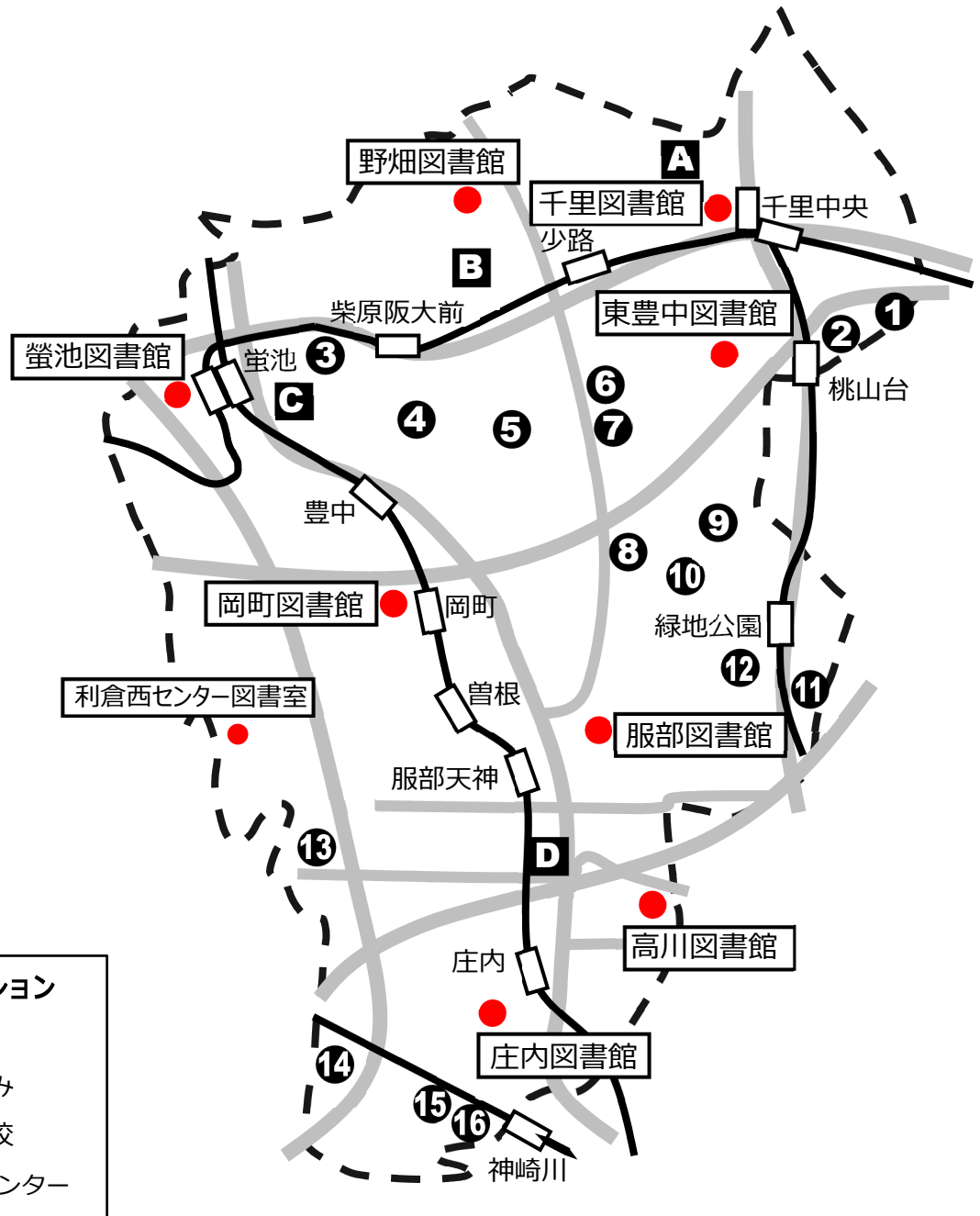
今後の新たなサービスは主な利用者層を子どもや子育て世帯、若者として位置づけ、行きたくなる図書館づくりに取り組む。また誰もが情報にアクセスしやすい環境を整え、図書館の資源や機能、司書の専門性を活かし、まちづくりの視点で新たなサービスを展開する。

新たなサービス展開 10



施設案内

図書館マップ



- 施設巡回ステーション**
- A** 豊中支援学校
 - B** 発達支援あゆみ
 - C** 刀根山支援学校
 - D** 児童発達支援センター

令和5年3月31日現在

- 動く図書館ステーション**
- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ① 上新田4 (朝日プラザ千里A棟) | ⑨ 東泉丘4 (ジオ緑地公園3番館) |
| ② 上新田4 (桃山台グリーンマンション) | ⑩ 西泉丘2 (グランドールマンション) |
| ③ 刀根山元町 (刀根山元町北会館) | ⑪ 東寺内町 (寺内南公園) |
| ④ 刀根山2 (天理教会高香分教会) | ⑫ 寺内2 (日商岩井第1緑地公園マンション) |
| ⑤ 本町9 (住友化学社宅4号棟前) | ⑬ 上津島2 (上津島センター) |
| ⑥ 上野東2 (堀田公園) | ⑭ 庄本町3 (そんぽの家豊中庄本町横駐車場) |
| ⑦ 上野東1 (豊松園ハイツB棟前) | ⑮ 二葉町1 (市営二葉第二住宅) |
| ⑧ アルビス旭ヶ丘 (6-4号棟北側) | ⑯ 大島町2 (洲到止八幡宮) |

施設概要

館名	設置年月 構造	蔵書 冊数	敷地面積 専用床面積	その他施設概要
岡町図書館 岡町北 3-4-2 6843-4553	昭和 20 年(1945 年) (平成 4 年 5 月改修) 鉄筋コンクリート造 4 階建/ 地下 1 階	約 24.2 万 冊	1,309.09 m ² 3,272.08 m ²	
服部図書館 服部本町 5-2-8 6862-0800	平成 11 年(1999 年)1 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 6.2 万冊	2,282.39 m ² 708.29 m ²	複合施設 服部介護予防センター
庄内図書館 庄内幸町 4-29-1 庄内コホ"センター"内 2 階 6334-1261	昭和 50 年(1975 年)7 月 (令和 5 年 2 月移転) 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 7 万冊	4,890.95 m ² 1113.38 m ²	複合施設 庄内公民館 子育て支援センターほっぺ 南部分室 市民公益活動支援センター 庄内保健センター こども・教育総合相談窓口 市役所庄内出張所 豊中しごと・くらしセンター 庄内介護予防センター
高川図書館 豊南町東 1-1-2 6336-6901	平成 12 年(2000 年)6 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 7 万冊	3,240.34 m ² 1,257.90 m ²	複合施設 高川スポーツルーム 高川老人憩の家 高川介護予防センター
千里図書館 新千里東町 1-2-2 千里文化センター"コホ"内 4 階 6831-0225	昭和 53 年(1978 年)4 月 (平成 20 年 2 月リニューアル) 鉄筋コンクリート造 4 階建	約 14.7 万 冊	3,089.29 m ² 1,731.81 m ²	複合施設 市役所新千里出張所 千里保健センター 千里公民館 千里介護予防センター
東豊中図書館 東豊中町 5-2-1 6856-4660	平成 5 年(1993 年)11 月 鉄筋コンクリート造 3 階建	約 6 万冊	3,173.54 m ² 1,068.58 m ²	複合施設 ゆたかこども園
野畑図書館 春日町 4-11-1 6845-2400	昭和 63 年(1988 年)6 月 鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建 /地下 1 階	約 31.6 万 冊	2,000.01 m ² 3,846.46 m ²	
螢池図書館 螢池中町 3-2-1-502 ルシオーレ内 5 階 6840-8000	平成 15 年(2003 年)5 月 鉄骨鉄筋コンクリート造 7 階建	約 5.7 万冊	3,762.59 m ² 672.98 m ²	複合施設 螢池公民館 パスポートセンター 豊中市教育センター 螢池老人憩の家 商業施設
動く図書館 岡町図書館より出動	昭和 25 年(1950 年)	約 3,000 冊	ステーション 16 ヶ所 施設 4 ヶ所	
利倉西センター図書室 利倉西 1-4-22	平成 29 年(2017 年)7 月	約 5,000 冊	※動く図書館・図書室は岡町図書館所属	

※いぶき図書室は、青少年交流文化館いぶき 3 階で予約資料受け渡しに特化したサービスに移行（令和 4 年 4 月より）

※庄内幸町図書館は、令和 5 年 1 月 16 日から休館し、2 月 20 日をもって閉館

休館日・開館時間

岡町図書館 庄内図書館 野畑図書館	毎週月曜日（その日が休日* ¹ に当たるときはその翌日以降の最初の休日に当たらない日） 12月29日から翌年1月4日（1月4日が月曜日に当たるときは1月5日）まで 館内整理日（8、12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日* ² に当たるときはその前日）、特別整理期間
千里図書館	12月29日から翌年1月4日まで 館内整理日（12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
東豊中図書館 服部図書館	毎週月曜日（その日が国民の祝日に当たるときはその翌日以降の最初の国民の祝日に当たらない日）、12月29日から翌年1月4日（1月4日が月曜日に当たるときは1月5日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12月を除く毎月最終金曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間
高川図書館 螢池図書館	毎週金曜日（その日が国民の祝日に当たるときは、その前日以前の最初の国民の祝日に当たらない日）、12月29日から翌年1月4日（1月4日が金曜日に当たるときは1月5日）まで 国民の祝日（日曜日及び土曜日を除く）、館内整理日（8、12月を除く毎月最終木曜日。ただしその日が国民の祝日に当たるときはその前日）、特別整理期間

*1 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。以下同じ。

*2 同法第2条に規定する国民の祝日をいう。以下同じ。

		成人室	こども室	参考室	
岡町図書館	火～金	10時～19時	10時～17時		
庄内図書館	火～金	10時～19時		/	
千里図書館	月	10時～17時			
	火～金	10時～20時			
野畑図書館	火～金	10時～19時			
高川・螢池図書館	月・水	10時～19時			
	火・木	10時～17時			
東豊中・服部図書館	火～金	10時～17時			
※上記図書館は、土・日			10時～17時		
利倉西センター図書室	水・日	14時～17時			
いぶき（3階）サービス	水・土	13時15分～16時45分（青少年交流文化館いぶき内）			

※祝日・休日開館の場合は10時～17時（岡町、庄内、千里、野畑、東豊中、服部、高川、螢池図書館）

※庄内幸町図書館は、令和5年2月20日をもって閉館

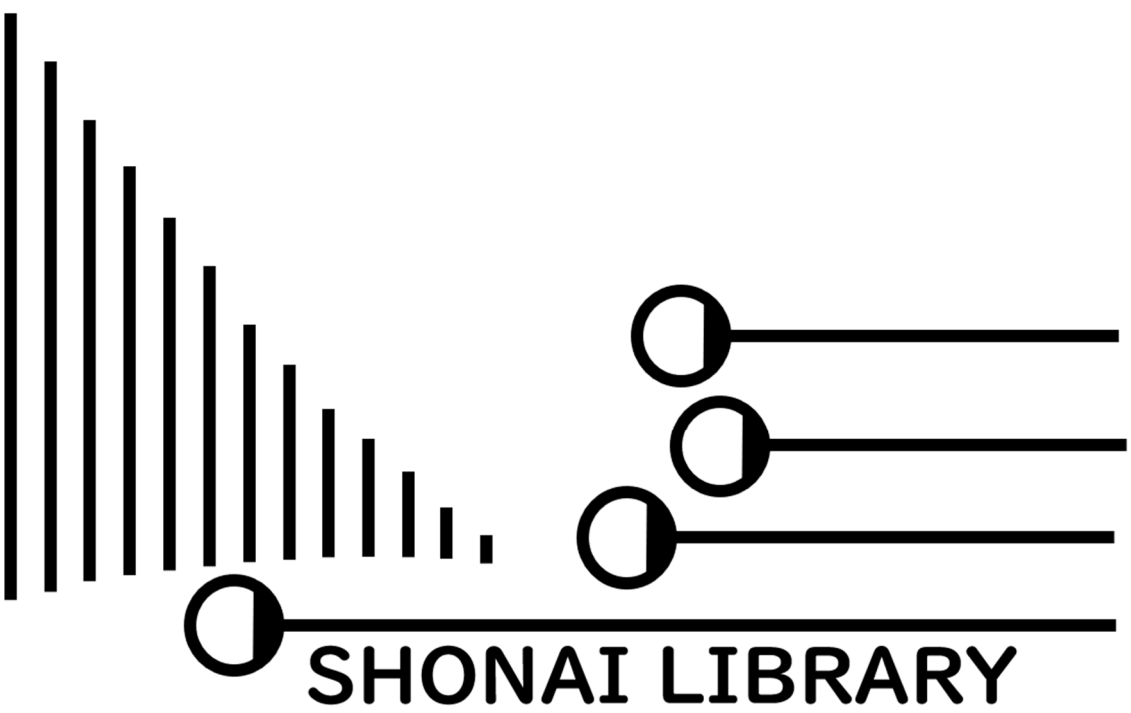
TOYONAKA CITY LIBRARY

SHONAI LIBRARY
since 1975.7.12



2023

SHONAI COLLABO CENTER
New LIBRARY 2.20



このページはブックカバーとして
ご利用いただくこともできます。



発行日 令和5年(2023年)9月発行
編集・発行 豊中市立岡町図書館
<https://www.lib.toyonaka.osaka.jp>